

第41回 夕張川流域会議 WEB会議

●日時：
令和4年2月3日 13:00～15:00

夕張川流域会議は、コロナ感染拡大の影響を考慮して、WEB会議となりました。今回の会議では、河川事務所から樹木伐開と河道掘削について、今年度実施した工事と来年度以降の予定工事箇所の説明があった後、NPO雨煙別学校、ハサンベツ里山計画実行委員会からは活動報告、今年のサク・マスの遡上及び産卵状況がありました。流域生態研究所からは、ハサンベツ川の魚道づくり等の報告があり、治水上はもちろん、環境や河川利用の点でもいい川にするため土砂コントロールのされる川づくりの提案がありました。

川遊び入門 「網」について

川の生き物しらべでは、魚や水生昆虫を採るために夕モ網を使います。網にはいろいろな種類があり、北海道漁業調整規則による規制があります。生き物しらべでは夕モ網をよく使いますが、大きさが40cm未満と定められています。その他の網、大きな夕モ網の使用は、特別採捕許可（北海道の許可）が必要です。



投網



サデ網



夕モ網

川をきれいに！雨煙別川清掃

●日時：令和3年10月24日 9:00～12:00

秋晴れのもと、江別河川事務所、教育委員会、NPO等が参加して河川清掃が行われました。昨年、産卵場所適地として造成した河原では、ヤナギ抜きと砂利掻き（河川水の浸透促進）が行われました。また、採った魚の説明展示もありました。



川と生活

「流域治水」の紹介

頻発する水害に対応するため、「流域治水」の実現を図る「流域治水関連法」が昨年7月に施行されました。「流域治水」は、堤防の整備、ダムの建設・再生などをより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方で、「流域治水」の取り組みについてお伝えします。

事例紹介：氾濫を出来るだけ防ぐ対策 ～貯留浸透施設
札幌市の栄町小学校グラウンドは、雨水を一時的に貯留し排水もできるように設計されています。



貯留浸透施設の説明看板



グラウンド周囲の溝の様子

「流域治水」の取り組み



出典：国土交通省資料

河川管理者と地域の団体が協力して川で活動します

～「河川協力団体」の紹介～

河川協力団体は、河川の維持、河川環境の保全など河川の管理につながる活動を自発的に行っている民間団体で河川管理者が指定します。河川管理者と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築することで、

河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的としています。北海道では、25の団体が指定され、環境学習、調査研究、河川清掃等の活動を行っています。→詳しくは北海道開発局HP内「河川協力団体」で検索。

河川協力団体制度の目的



資料：国土交通省「河川協力団体制度」パンフレットより



令和元年、札幌管内の河川協力団体の意見交換の様子



河川協力団体の活動場所視察の様子

夕張川の生き物たち ニホンイシガメ

雨煙別川でカメを見つけました。ニホンイシガメのようです。日本固有の種で体長は20cmほど、ギザギザ文様がある甲羅を持っています。よく似たカメにクサガメがありますが、ニホンイシガメの甲羅が茶色っぽい色なのに対して黒い甲羅を持っています。また、ペット用に輸入された通称ミドリガメ(ミシシッピアカミミガメ)は、文字通り目の後ろあたりに赤い筋があります。今、在来種のニホンイシガメやクサガメがミシシッピアカミミガメに生息域を奪われるという問題がおきています。

参考：「北海道爬虫類両生類ハンディ図鑑」北海道新聞社



首に黄緑色の模様

甲羅が明るい茶色



雨煙別川を泳ぐニホンイシガメ

ふるさとを学ぼう、川で学ぼう 石炭学習

●日時：令和3年9月24日 10:00～11:30 ●場所：夕張川多良津橋周辺

栗山小学校4年生が夕張川で「石炭学習」をしました。「石炭学習」は、石炭が元は植物で化石燃料としてとても貴重なエネルギー源であること、かつて夕張川上流に石炭産業で栄えた地域があったこと、選炭された石炭の欠片が川を流れていること等を学ぶフィールドワークです。児童は河原で石炭を拾い、石炭のいろいろな話を聞いたあと、実際に石炭を燃やしてみました。夕張川流域が石炭ととても縁のある地域であることを理解したようです。



石炭燃やして観察



川で拾った石炭

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索